

2023年7月27日

パナソニック ホームズの優秀設計者2名を選出
『2022年度エキスパートデザイナー』を認定
 ～家づくりの精鋭が、要望・期待を超えるデザイン・機能性を設計提案～

パナソニック ホームズ株式会社は、毎年度、当社の優秀設計担当者を選出する「エキスパートデザイナー認定」において、このたび、2023年7月3日に、『2022年度エキスパートデザイナー』2名を認定しました。

「エキスパートデザイナー認定」は、毎年度、新築・リフォーム部門において、一定要件を満たす設計担当者が所属部から推薦を受けて、設計職能の専門的な研修を受講。受講後の認定アセスメントを経て正式認定される社内制度です。同認定は、2012年度から認定を開始し、今回で11年目となります。



2022年度認定 新築部門 エキスパートデザイナー
 パナソニック ホームズ株式会社 森宗 美和 設計事例

同認定の研修は、当社の設計従事者の提案力やモチベーションの向上、優秀事例における特長・工夫の水平展開をはじめ、デザイン力に優れた設計者が揃う会社としてのスキルアップを目的としています。研修受講後の一次選考を経て、最終の認定アセスメントでは、設計者が設計計画をはじめ、オーナー様への提案プロセスについてプレゼンテーションを行い、設計技能だけでなく、関係者と良好な関係を構築し、円滑な業務を行うためのヒューマンスキルも含む総合的なスキルを評価する内容になっています。

近年、在宅時間の増加に伴い、生活様式や価値観がさまざまに変化している中、住まいの間取りやデザインに求める志向も変化しています。間取りにおいては、玄関手洗いやワークスペース等、ポストコロナのライフスタイルに柔軟に対応するプランへのニーズが高く、機能面では、「住宅のデザイン」が最重視される傾向にあります*1。

設計知識の深さと培った技術を認定する精鋭の資格「エキスパートデザイナー」は、家づくりのエキスパートとしての誇りと責任を胸に、お客様の期待を超えるデザインを生み出しながら、暮らしの夢や理想を具現化していきます。

当社ではこのほか、毎年、当社の建物設計における優秀事例を選出して表彰する社内制度『アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を主宰しており、設計担当者のモチベーション向上と併せて、スキル・ノウハウの水平展開を図ることで、全社規模で設計職能のレベルアップを目指しています。

さらに、設計担当者のスキルアップと併せて、商品においてもデザインクオリティを進化・拡充させています。2023年4月には、NEW『カサートプレミアム』を新発売。大きな吹き抜けから光が降り注ぐ「光の回廊」を提案しています。この空間は、複数の吹抜を可能にする頑強な制震鉄骨軸組構造や、室内どこでも均一な温度の空気を巡らす全館空調システム『エアロハス』、縦に連なる大開口の設計を可能にする建物の優れた断熱性能を備えた住まいだからこそ実現できるものです。今後もハード・ソフトの両面で、多様化するお客様のこだわり・ご要望にお応えします。



NEW『カサートプレミアム』

■ 「エキスパートデザイナー認定」および『2022年度エキスパートデザイナー』概要

- 名称：『2022年度エキスパートデザイナー』認定
- 主催：パナソニック ホームズ株式会社 設計部
パナソニック リフォーム株式会社 建築技術部
- 選考日程：一次選考 2021年12月・認定アセスメント 2023年2月
- 対象者：支社、協業会社、パナソニック リフォーム(株)に所属する社員において、1級建築士の資格を有する設計従事者のうち、設計スキル、経営貢献実績など一定の要件を満たす者
- 認定者：① 新築部門
● パナソニック ホームズ株式会社 森宗 美和
● パナソニック ホームズ株式会社 岡村 明香
- ② リフォーム部門
2022年度は認定者なし

■ 新築部門『2022 年度エキスパートデザイナー』 設計事例

● パナソニック ホームズ株式会社 森宗 美和



木天井とのコントラストが、リビングの吹き抜けをより際立たせ、明るく開放的な空間を演出

『か・い・ほ・う』ということ

自然素材へのこだわりや、吹き抜けのある住まいというオーナー様のご要望を受け、「かいほう（開放・解放）」をキーワードにご提案しました。

玄関ホールには植栽や山、空を望むFIX窓を、また吹き抜けのあるリビングには山に面した大きな窓を設けることで、空間に「開放」感を演出。

さらに、効率的な家事動線を採用することで、仕事・家事からの時間的な「解放」を、こもり感のある書斎やホームシアターにもなる寝室を設けることで、精神的な「解放」を表現。2つの「かいほう（開放・解放）感」を味わいながら、自由を満喫できるくつろぎの住まいが実現しました。



タイルと吹き付けを貼り分けることで、素材感を出したスクエア型の外観



閉鎖的な玄関ポーチから中に入ると、外へと視線を開放させる大きなFIX窓が「開放」感を演出



2階へつながる階段はオープンにせず壁で囲むことで、2階ホールの窓から視線を開放

【プラン】奥様のご実家横での計画で、山沿いの閑静な住宅街に位置し、山を見ると落ち着くという奥様のお言葉から、山に意識の軸を置いたプラン構成としました。玄関アプローチは外壁を伸ばし、奥にある玄関へと誘導させ、玄関で振り返る動線とすることで山への視線の軸となり、1階リビングに設けた大きな窓や吹き抜け、2階ホールのL字型の窓から視線を山へ通し、開放感を演出。また、タイルや照明などインテリアにもこだわり、日々のストレスから解放され、それぞれの時間を自由に楽しむ間取りとしました。

● パナソニック ホームズ株式会社 岡村 明香



2階に設けた“カーテンのない暮らし”が楽しめる開放感たっぷりのリビング・ダイニング

「間」で感じる豊かなくらし

～detailが日常を極上に変える～

お子さま4人それぞれの部屋が欲しい、大人リビングと子どもリビングが欲しい、カーテンのない暮らしをしたいという3つのご要望を踏まえ、敢えて部屋数を減らす提案を行い、空間に余白を持たせることで、開放感が生まれる間取りとしました。玄関から一続きにつながる土間空間には、子どもリビングを計画。2階リビングには広いテラスを設け、家の中と外をつなげることで、より開放感あふれる空間としました。また、家族のリサイクル会場として、階段踊り場にピアノを設置。各々が自分の時間を楽しみながらも、家族の気配を感じることができ、安心できる距離感の中で豊かな暮らしが実現しました。



玄関から一続きの広い土間空間はソファを置いて、子どもリビングに。階段踊り場にはピアノを設置。



フローリングの木の温かみと土間コンクリートの無機質な素材を組み合わせ、センスの良い空間を演出



バーベキューを楽しむことできる2階テラスはダイニングと直結

【プラン】 子どもリビングを玄関から続く広い土間空間に、LDK は外を歩く人と視線が合わないよう2階に設置。空間を壁で分けずに上下階を緩やかに繋げ、開放感やそれぞれの距離感が生まれる「間」を意識したプラン提案を行いました。また、キッチンからクローゼット、洗面、脱衣室と回遊できる効率的な家事動線を採用し、家事のほとんどを一カ所で完結できる間取りとしました。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/designer/>

※1: 国土交通省「令和4年度 住宅市場動向調査 報告書」(2023年3月)

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 広報課 澗随(かんずい)

携帯:080-8544-4376 / E-mail:kanzui.naho@kk.panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>



パナソニック ホームズは 2023 年に創業 60 周年を迎えます。これまでの「感謝」を新たな「挑戦」への力に変えて、暮らしを起点に事業活動を拓げます。お客さま一人ひとりに寄り添い、心豊かな暮らしと持続可能な社会の実現を目指し、邁進してまいります。